

ふるさと納税返礼品を総合学科の生徒が企画しました

本校総合学科会計系列3年生の生徒が養老町ふるさと納税返礼品として観光旅館「千歳楼」の宿泊プランを企画しました。宿泊していただく方には、生徒が作成した養老町のガイドブックの提供や実習製品をお土産として持ち帰りいただくなど様々な提案をしています。

ふるさと納税サイト「さとふる」に掲載されており、寄付金額は170,000円となっています。

高校生が日頃の学習を活かし、実習製品をお土産とした宿泊プランを企画することは全国初とみられ、今後も養老町に貢献できるよう学校をあげて取り組んでいきたいと考えています。



養老町は、桜・紅葉がきれいな養老公園にある日本の滝百選の「養老の滝」が広く知られますが、西暦717年に元号が「養老」に改元されてから1300年が経ち、町名の由来にもなっている“深い”歴史と焼肉店等が立ち並ぶことから「焼肉街道」と呼ばれる県道があり、安くて“旨い”飛騨牛を味わうことができます。昨年には、幻のサイダーといわれた「養老サイダー」が復刻するなど、心もおなかも満たされるまちです。



返礼品寄附額 170,000円

【高校生が提案!「千歳楼から楽しむ養老」

歴史・文化・滝・公園など養老を満喫するペア宿泊券(1泊2食)】

2014年、明治・大正・昭和の各時代の建物が、それぞれに意匠に富んだ上質な近代和風建築であることが認められ、国の登録有形文化財に認定された老舗旅館「千歳楼」で、飛騨牛をしゃぶしゃぶで食べられる宿泊プランです。地元、大垣養老高校の生徒がまとめたガイドブックと実習生産物をお土産にどうぞ。